

# 委員会審査

## 一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、5年度一般会計決算の各項目について、9月12日、13日の2日間で、所管による関係資料をもとに慎重かつ詳細に審査を実施した。

その内容について、両委員長から審査報告があり、主な内容は以下のとおりである。

総務産業常任委員会

ふるさと寄附金

実質収入額約4813万円

委員長 大日向進也

### 歳入

**問** 長野県地方税滞納整理機構への滞納整理移管者の選定方法は。

**答** 滞納整理機構には、滞納繰越分の住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税が移管でき、滞納額・徴収の困難度・納税者の納税意欲等を勘案し移管とする者を選定している。令和5年度は、680万4490円を移管し、446万7150円を徴収した。

### 歳出

#### 総務課

**問** 接遇研修の実施状況は。

**答** 窓口対応など接遇に係る事項について実施したほか、新入職員研修のカリキュラムの中で、接遇研修を実施している。

#### 企画政策課

**問** 温泉施設備品の内容は。

**答** 源泉のお湯をくみ上げる水中ポンプ1基の購入費で、災害や故障などの不測の事態の際に対応するため調達したものである。

#### 商工農林課

**問** ふるさと納税事業の寄附金総額から諸経費等を差し引いた収入額はいくらか。

**答** 寄附収入額から諸経費と他自治体への寄附に伴う町税控除額を差し引いた収入額は、4813万454円である。

**問** ふるさと納税の返礼品は、何品目を取り扱い、需要が多いものは何か。

**答** 5年度末現在で掲載のあった品目は154品目で、需要は、果実類が多く、シャインマスカット、ナガノパープル、巨峰で8割以上を占めている。

**問** 複合施設の用地測量の内容は。

**答** 建設予定地は、国土調査完了から年数が経ていることから、杭の位置確認や境界杭が無くなっている箇所への復元のほか、ドローンによる精密測量を含めて実施した。

**問** 5年度に創設した、町農作物等災害見舞金支給制度の申請状況は。

**問** 県内プロスポーツチームのホームゲームの際に、町の観光PRをおこなってはどうか。

**問** 果樹共済掛金補助金について、4年度決算額よりも大幅に増えているが、その理由は。

#### 建設課

**答** 2名から申請があり、総額7万円を支給した。

**問** 町単補助事業を数年継続している箇所の理由は。

**答** 以前から補助を行っていた「果樹共済」に加え、5年度より「収入保険」の保険料の一部補助を開始したことから補助額が増額となった。

**答** 施工延長が長かったり、多額の工事費が必要となる箇所となっており、区長と相談し、確認しながら施工している。



ふるさと納税返礼品で大人気のシャインマスカット

**問** 除雪作業の内容と実績は。

**答** 融雪剤散布は道路凍結の恐れがある時、除雪は10センチ以上降り積もる状態の時に作業路線を決め実施しており、令和5年度は、融雪剤散布17日で46時間、除雪は11日で90時間の作業を実施した。

**問** 国道18号と役場間に架橋されている64号橋と昭和橋の工事予定は。

**答** 64号橋の今年度工事は発注済みであり、役場前庭の歩道整備や旧橋の撤去を施工予定である。

昭和橋は平成26年度から工事着手しており、今年度も継続して修繕工事を行う予定である。

### 社会文教常任委員会

## 中学生海外派遣

委員長 玉川清史

### 住民環境課

**問** コンビニ交付の実績及び窓口交付分を含めた全体に占めるコンビニ交付件数の割合は。

**答** 戸籍証明が335件、住民票が966件、印鑑証明が579件で、割合は約13%である。

**問** マイナンバーカードについて、再発行の件数と再発行理由は。

**答** 再発行件数は、75件である。理由は、紛失等によるもの及び外国籍住民の在留期限が切れた際に行うものである。

### 福祉健康課

**問** 町ポンプ操法大会の在り方が変わったなかで、各分団はどのような訓練を実施しているか。

**答** 有事の際には消火作業等が実施できるよう、消防署の協力を得ながら、基本的な機械操作を中心に、安全かつ確実な機械操作技術の習得に向けた訓練を実施している。

**問** 結婚新生活支援補助金の内容及び補助件数と補助金額は。

**答** 町内に居住し婚姻届提出時点で夫婦ともに39歳以下で、世帯の合計所得が500万円未満である世帯に家賃や引越費用などの経費を補助している。補助上限額は30万円、夫婦ともに29歳以下の場合には上限額が60万円

である。  
5年度の補助件数は3件、補助金額は合計91万7000円である。

**問** あんしん電話利用者数と待機者はいるのか。

**答** 5年度末の利用者は122名であり、待機者はいない。申し込みから設置まで2週間程度かかるが、希望者全員に設置している。

**問** 信州上田医療センター医師確保事業の内容及び状況は。

**答** 上田市、東御市、青木村、長和町、当町の上田広域5市町村で、均等割10%と人口割90%の算出により補助し、医療従事者確保を目的としている事業である。

令和6年4月時点で、医師93人を確保している。

**問** 新型コロナウイルス予防接種事業で、令和5年度の接種率は。

**答** 春接種では町民全体の接種率は27.7%、

65歳以上の接種率が64.3%であり、また、秋接種では町民全体の接種率は27.4%、65歳以上の接種率が63.5%であった。

### 教育文化課

**問** 出産・子育て応援交付金事業についての実績は。

**答** 経済的支援として妊娠届出時に「出産応援給付金」として、72人に一人あたり5万円を、出産後の新生児訪問後に「子育て応援給付金」として、65人に一人あたり5万円を支給した。

**問** 学校給食費等補助金の内容は。

**答** 学校給食費等補助金は、5年度に導入した学校給食費無償化に伴い、アレルギー等の理由により、学校給食を食べることができない児童生徒に対し、学校給食費相当額について補助を行った。

**問** 中学生海外派遣事業について、参加生徒とそ

れ以外の生徒で体験格差をどう考えているのか。

**答** 中学生海外派遣事業に参加した中学生8名には、帰国後、報告書を作成するほか、今年度の文化祭において報告発表を予定するなど、自らの体験を中学校全体にフィードバックする機会を設けている。

**問** 令和4年8月からスタートしたデジタル図書信州で利用できる電子図書数は。

**答** 約2万4000冊である。



中学生海外派遣事業に参加した生徒8名